

健康福祉委員会資料

(消防局関係)

1 所管事務の調査（視察）

(1) 緊急消防援助隊活動拠点について

緊急消防援助隊活動拠点



平成 28 年 2 月
川 崎 市 消 防 局

■ 新庁舎の概要

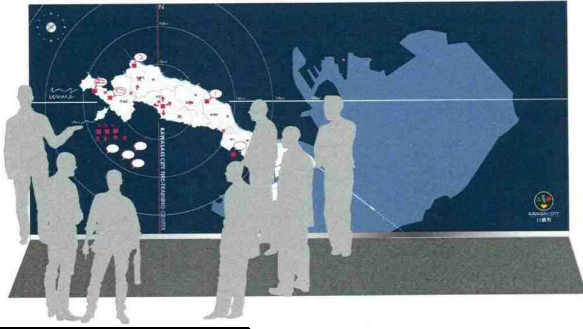
□ 趣旨	大規模災害時における川崎市民の安全の確保に向け、他都道府県から応援に来る緊急消防援助隊が、人命救助活動等を効果的かつ迅速に行うための活動拠点として、また、応援時の進出拠点として整備された施設です。	
□ 所在地	川崎市宮前区犬蔵1-10-2	
□ 庁舎概要	・敷地面積	14,919.19m ²
	・建物構造	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 2階建
	・建築面積	1,924.26m ²
	・建築延面積	2,255.55m ²
	・最高の高さ	14.2m
□ 主要室配置	1階	事務室、備蓄倉庫、救護室、更衣室（シャワー室兼用）、多目的トイレ、体育室
	2階	指揮作戦室（研修室）、作戦調整室（研修室）、会議室、通信室、女子トイレ、女子更衣室（シャワー室兼用）
□ 主要設備配置	屋外	自家用給油取扱所（ガソリン、軽油、灯油）、空気充填所、災害用マンホールトイレ、照明設備、自家発電設備、消火栓・防火水槽
□ 竣工日	平成28年2月24日予定	
□ 運用開始	平成28年4月上旬予定	

■ 新庁舎の活動拠点機能

活動拠点機能	施設・設備名	備考	場所
災害対策本部 又はその補完機能	指揮作戦室	大画面モニター、操作卓、テレビ、FAX、パソコン、外線電話など	2階
	作戦調整室	スクリーンなど	2階
	通信室	ヘリコプターテレビ受信装置、消防救急デジタル無線機	2階
ベースキャンプ機能	体育室		1階
	グラウンド		屋外
	シャワー室	更衣室、シャワー室	1・2階
応急救護機能	救護室	ベッド	1階
	備蓄倉庫	応急救護用救急消耗品	1階
備蓄物資供給機能	自家用給油取扱所	ガソリン 10KL、軽油 20KL、灯油 2KL	屋外
	空気充填所	空気ボンベの充填	屋外
	備蓄倉庫	警防資器材	1階
その他	屋外トイレ	1か所	屋外
	災害用マンホールトイレ	5か所	屋外
	照明設備		屋外
	自家発電設備	停電時における非常電源	屋外
	消火栓・防火水槽	消火栓3か所、防火水槽1か所	屋外

緊急消防援助隊活動拠点となる機能は、総務省消防庁で検討した「緊急消防援助隊活動拠点施設に関する調査報告書」に準じて整備されています。

1階の施設の案内



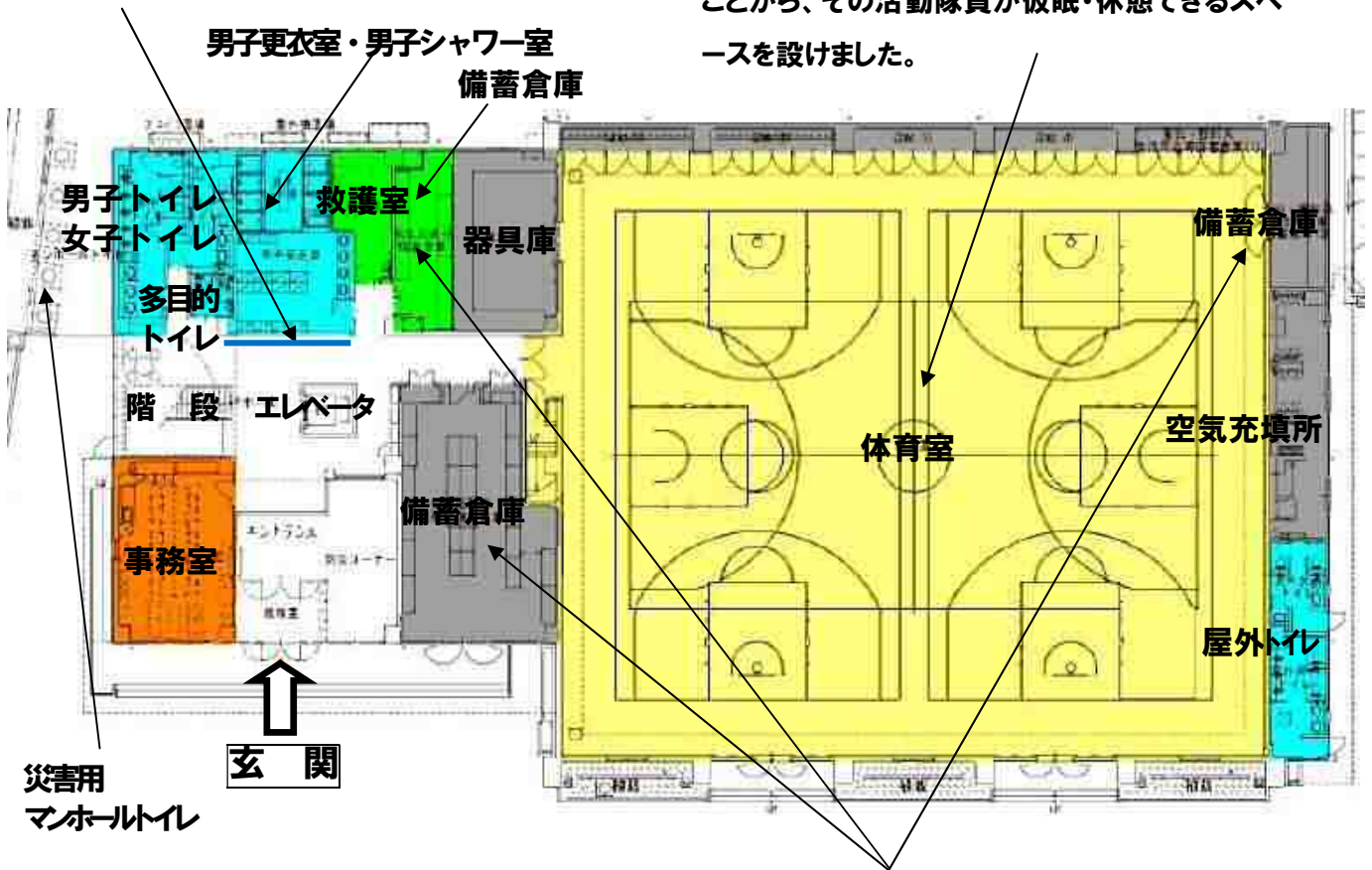
市域案内パネル

迅速に川崎市全域を緊急消防援助隊に把握させるため、マグネットタイプの市域案内パネルを設けました。



体育室

緊急消防援助隊は約300人規模で応援に来ることから、その活動隊員が仮眠・休憩できるスペースを設けました。



備蓄倉庫

緊急消防援助隊に必要な資器材、食料等を保管する場所としています、



写真は消防局小田中倉庫

(完成イメージ)

2階の施設の案内

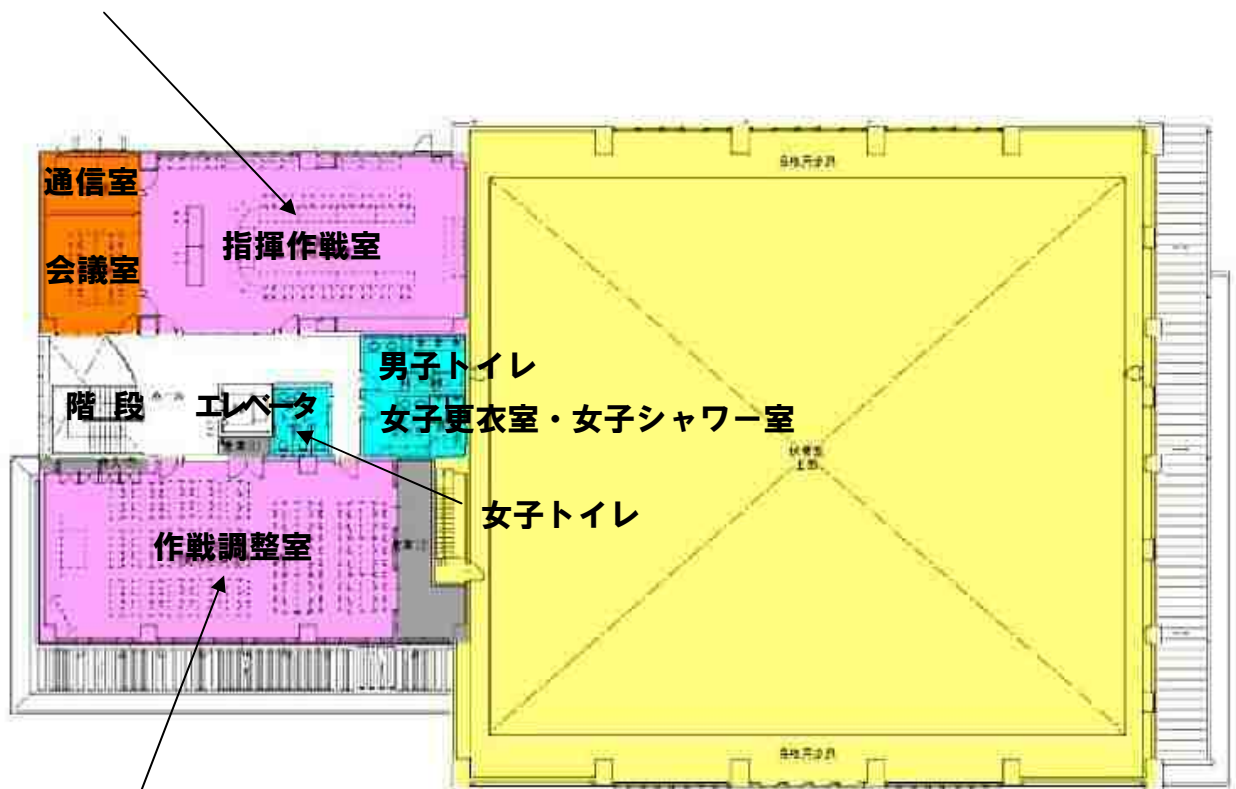


写真は消防局総合庁舎6階作戦室

(完成イメージ)

指揮作戦室

緊急消防援助隊として派遣された指揮隊が通信やヘリコプターからの映像を基に情報収集を行い、消防指揮本部と連携し、活動方針等を決めるための場所となっています。



写真は消防局総合庁舎4階講堂

(完成イメージ)

作戦調整室

緊急消防援助隊として派遣された部隊が市内で活動を展開するための調整を行なう場所となっております。

屋外の付帯施設・設備の案内



災害用マンホールトイレ

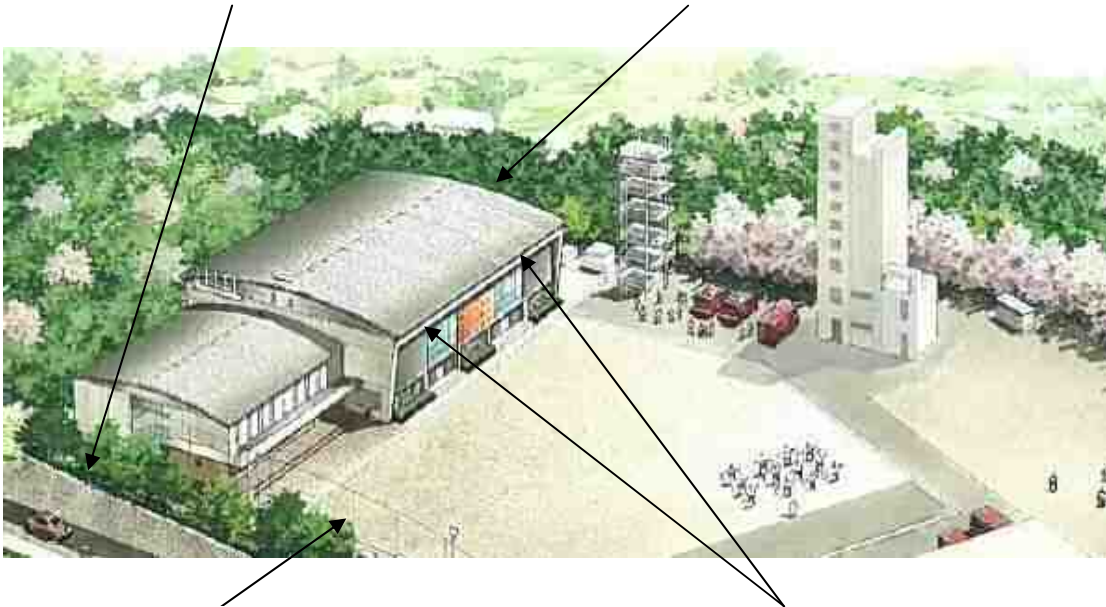
(設置イメージ)

下水道管路の上にマンホールを設け、大規模災害時に限り、簡易トイレを設置できるようにしています。



空気充填所

空気ポンベの残圧が不足した際に、ポンベ内に圧縮空気を充填するための施設となっています。



写真は川崎消防署

(完成イメージ)

自家用給油取扱所

平常時は、消防訓練センターに訓練に来た消防車等へ、大規模災害時には、緊急消防援助隊の応援部隊に対して燃料供給するための施設となっています。



照明装置

夜間時においても、緊急消防援助隊が、安全にグラウンド内で作業できるように照明設備を設けました。

■ 緊急消防援助隊活動拠点の案内



(出典 YAHOO JAPAN! 地図)